



Ideas & Chemistry

2019.8.5

2019年度第1四半期 決算説明



Catalyzing the Unimagined

想像を超える化学反応を。



Ideas & Chemistry

www.toyoobo.jp

東洋紡株式会社

目次

I . 2019年度第1四半期決算の概況

II . 2019年度業績見通し



**I . 2019年度第1四半期
決算の概況**

決算のポイント

第1四半期実績

- ◆ 営業利益 52 億円（2.2%減）、当期純利益 17 億円（45.6%減）は計画線上
- ◆ 成長ドライバーの“コスモシャインSRF”、セラコン用離型フィルムは好調
- ◆ エアバッグ用原糸、“ブレスエアー”は、火災による代替品調達の影響あり

通期予想

- ◆ 計画線上にあり、通期予想の営業利益 220 億円は据え置く

(億円)

	2018年度	2019年度		増減
	1Q	1Q	通期	
売上高	808	808	3,500	+0.1%
営業利益	53	52	220	▲2.2%
特別損益	▲2	▲17	70	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	17	170	▲45.6%

決算概要 PL

(億円)

	2018年度	2019年度	増減	
	1Q	1Q	金額	%
売上高	808	808	+1	+0.1%
営業利益	53	52	▲ 1	▲ 2.2%
(率)	6.6%	6.5%	-	-
経常利益	48	43	▲ 5	▲ 9.5%
特別利益	2	-	-	-
特別損失	4	17	+14	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	17	▲ 14	▲ 45.6%
EPS(円)	34.6	18.8	-	-
減価償却費	39	39	+0	+1.0%
設備投資	44	70	+26	+58.0%

為替レート (円/US\$)

109

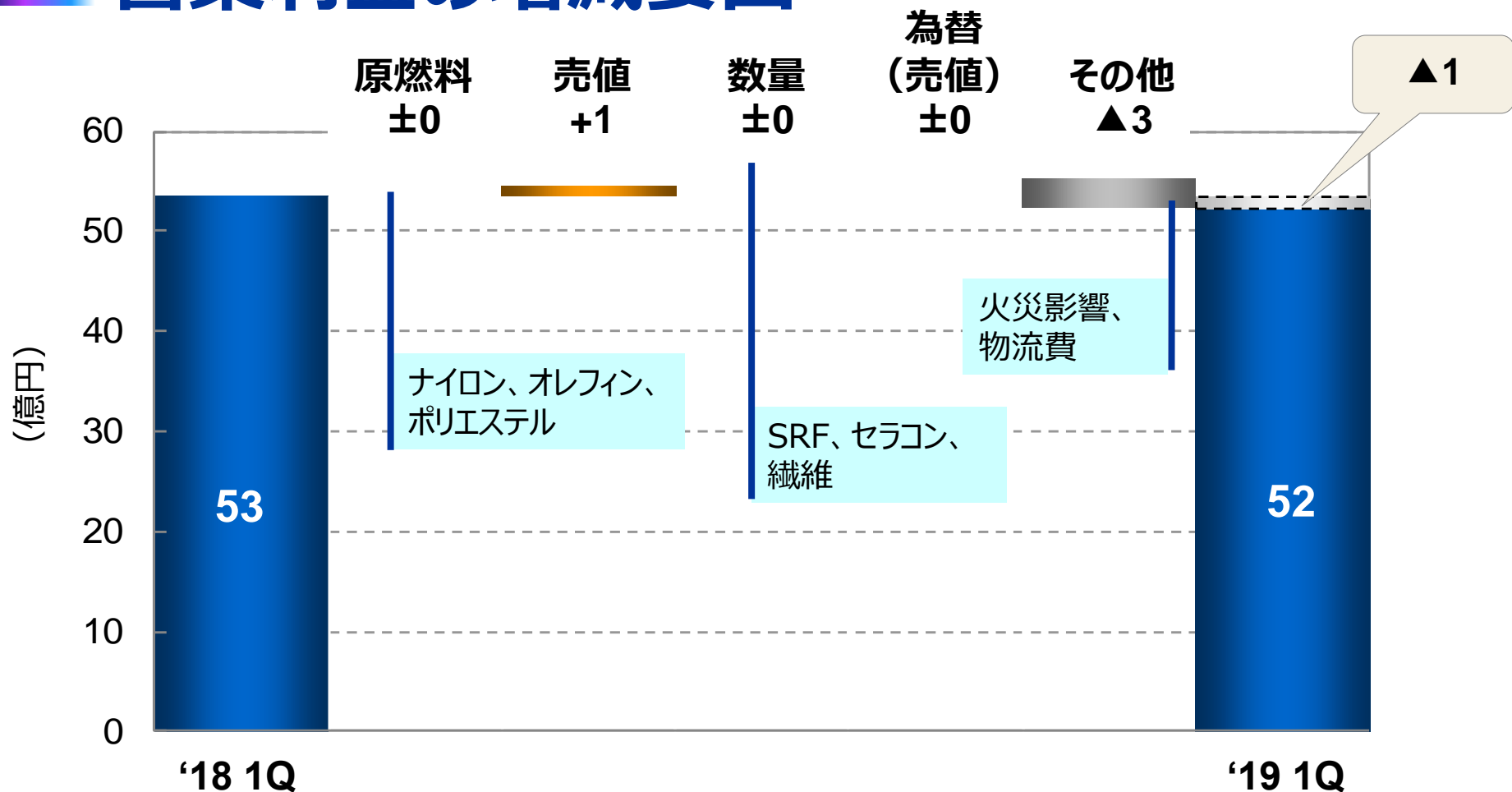
110

国産ナフサ (千円/kl)

49

45

営業利益の増減要因



	2018年度 1Q	2019年度 1Q
為替レート (円/US\$)	109	110
国産ナフサ (千円/kl)	49	45

決算概要 BS

(億円)

	19/3末	19/6末	増減 19/3 ⇒ 19/6
総資産	4,610	4,688	+77
たな卸資産	768	794	+26
固定資産	2,679	2,686	+7
純資産	1,812	1,766	▲ 46
自己資本	1,766	1,714	▲ 52
(利益剰余金)	519	499	▲ 20
非支配株主持分	46	52	+5
有利子負債	1,648	1,791	+143
D/E レシオ	0.93	1.04	-

決算概要 セグメント別

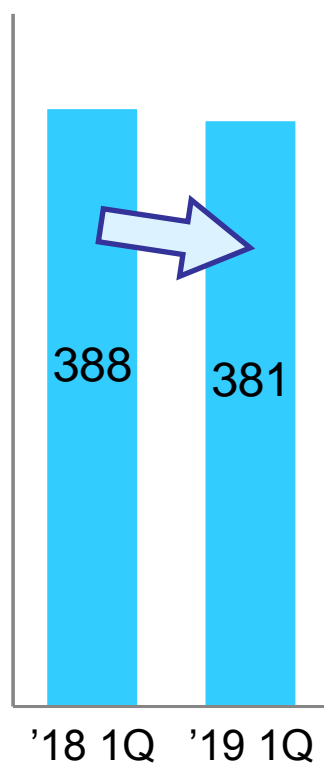
(億円)

	売上高		営業利益		
	2018年度 1Q	2019年度 1Q	2018年度 1Q	2019年度 1Q	増減
フィルム・機能樹脂	388	381	36	38	+2
産業マテリアル	161	160	10	5	▲ 4
ヘルスケア	76	93	10	12	+2
繊維・商事	148	145	2	▲ 2	▲ 4
不動産・その他	34	29	4	6	+2
消去・全社	-	-	▲ 8	▲ 8	+1
合計	808	808	53	52	▲ 1

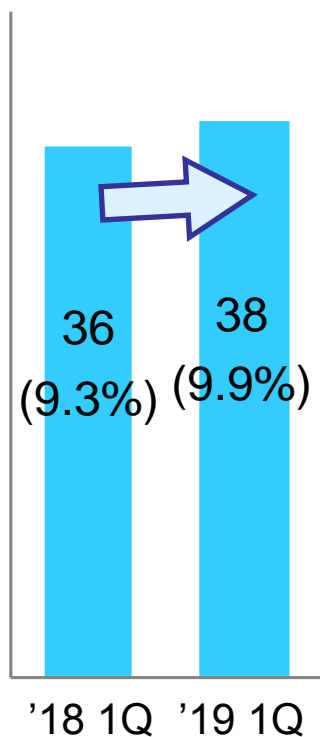
フィルム・機能樹脂

売上高

(億円)



営業利益 (%)



● 包装用フィルム

・夏物商品の販売が伸び悩む

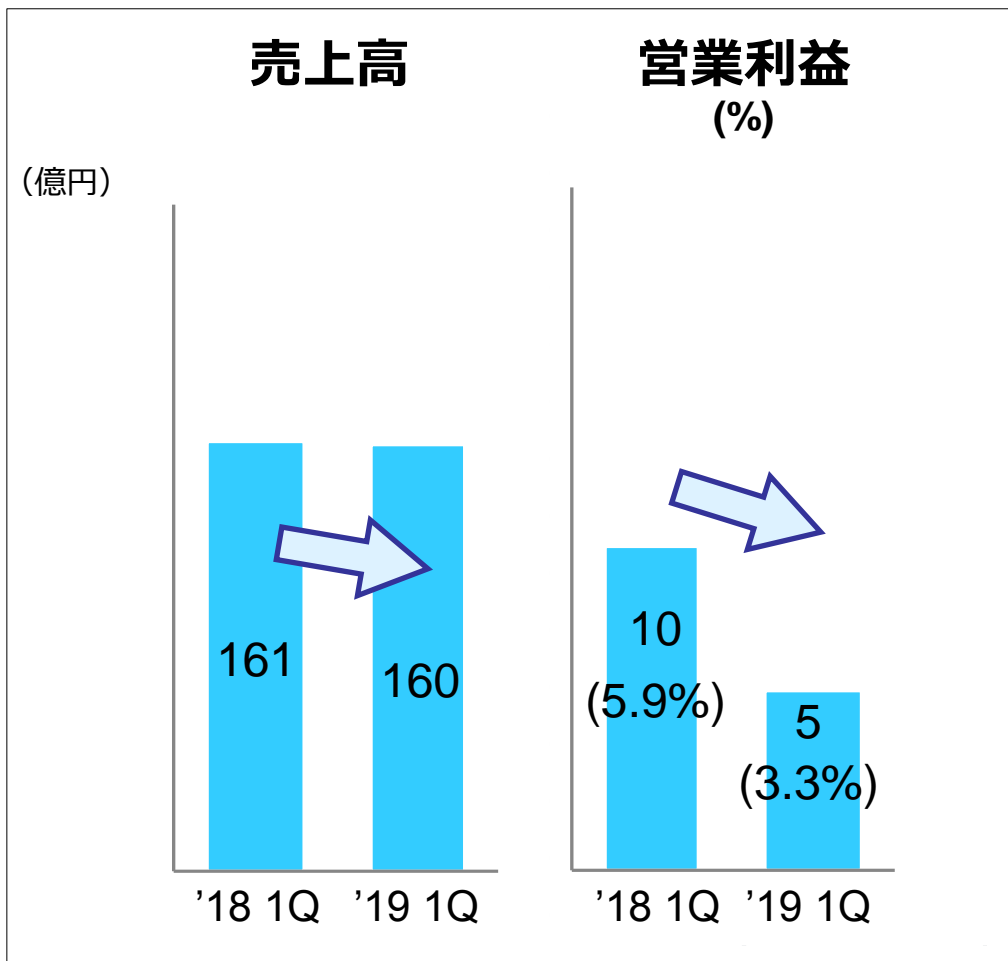
● 工業用フィルム

・“コスモシャインSRF”は、販売拡大
・セラコン用離型フィルムは、車載用で販売を伸ばす

● 機能樹脂

・エンプラは、自動車用途の販売堅調も、中国向け非自動車用途が伸び悩む

産業マテリアル



● エアバッグ用基布

- ・火災の影響により苦戦

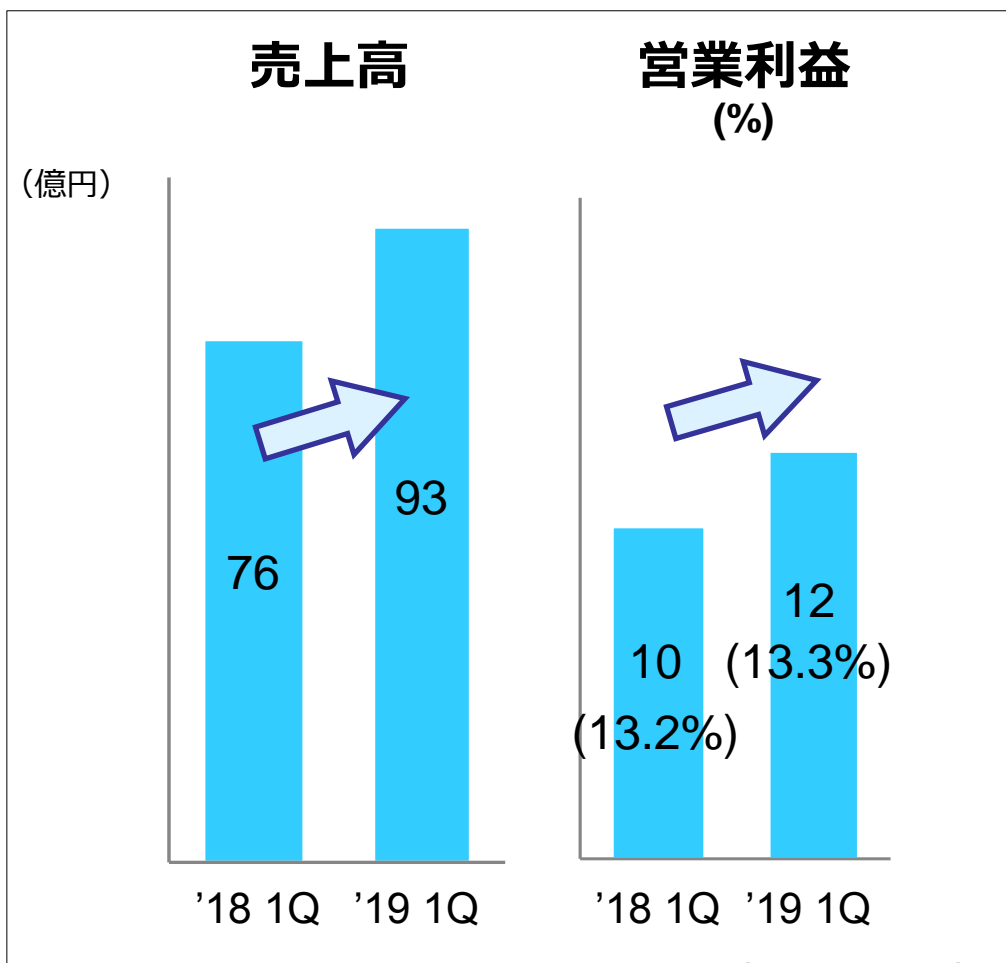
● 生活・産業資材

- ・衛材用短繊維は、中国向けの販売が伸び悩む
- ・“ブレスエアー”は、火災の影響あり

● スーパー繊維

- ・“イザナス”は、ロープ用途が好調
- ・“ザイロン”は、自転車タイヤ用途などで販売拡大

ヘルスケア



● バイオ

- ・診断薬用酵素は、海外へ販売拡大

● 医薬

- ・案件獲得に苦戦

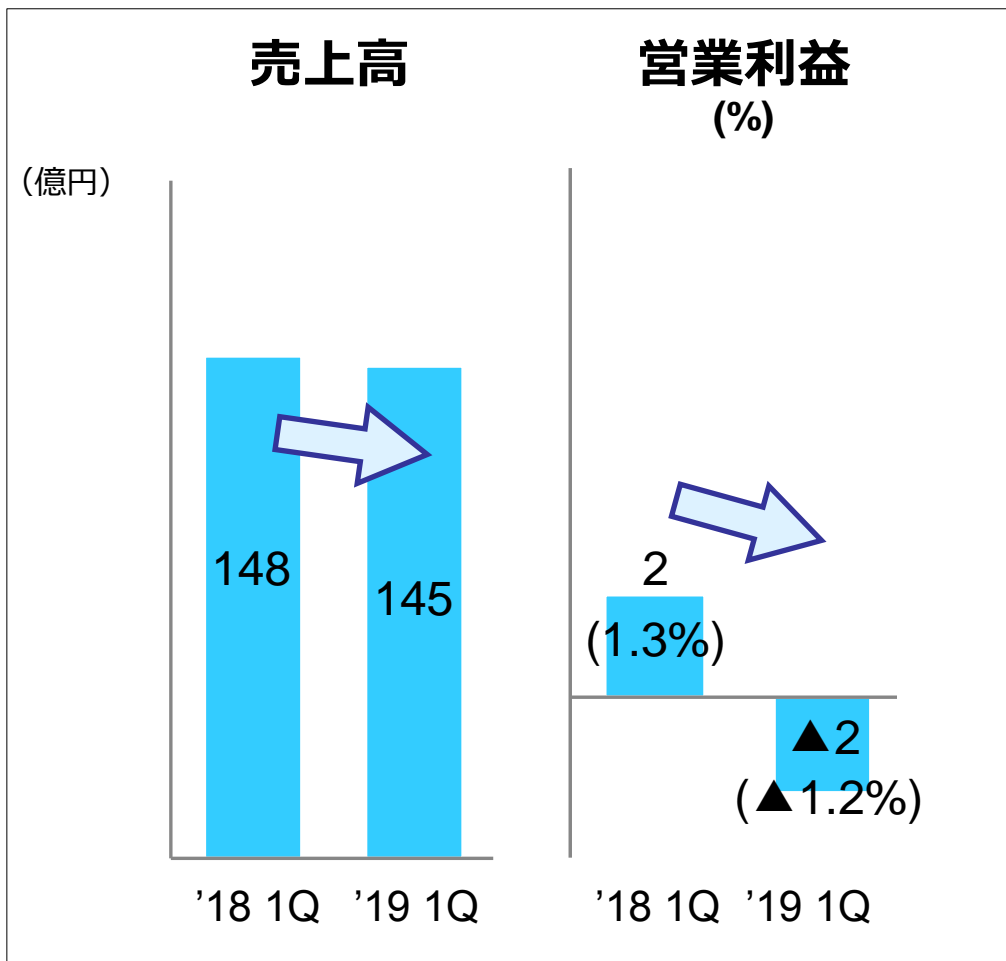
● 機能膜

- ・アクア膜は、交換膜の販売が伸びる

● 機能フィルター

- ・VOC処理装置・エレメントは、中国向け中心に販売拡大

繊維・商事



● 東洋紡STC (繊維)

- ・スポーツ衣料製品、
中東向けトープは堅調

● アクリル繊維

- ・産業資材用途へのシフト中も、
販売伸び悩む

トピックス

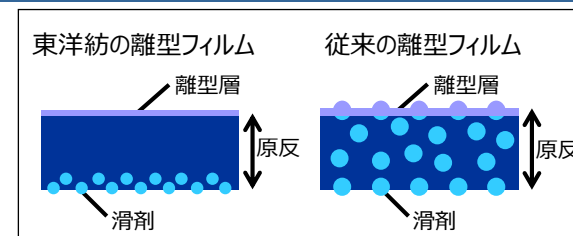
“コスモシャインSRF”

- ・1Qは約25%増収、液晶TV用途に販売を拡大
- ・2020年度 3号機量産開始予定。生産能力1.5倍に
- ・2021年度 シェア40%をめざす
- ・パネル大型化、オープンセル化、ベゼルレス化で、ポリエステルの特長性を顕著に



セラコン用離型フィルム

- ・1Qは約25%増収
- ・2019年度中 新加工設備を稼働
約2倍の生産能力に
- ・2021年度 ハイエンド品のシェア30%をめざす
- ・スマホ用途は伸び悩むも、車載用途で販売拡大 ・平滑性で優位



帝人（株）のフィルム子会社を買収

- ・帝人フィルムソリューション（株）、PT.Indonesia Teijin Film Solutions
- ・2019年10月1日付 全株式を取得し完全子会社とする予定
- ・高機能フィルム製品の開発・生産能力、海外生産体制の強化へ



Ⅱ．2019年度業績見通し

2019年5月9日に発表しました内容から、
変更は行っておりません。

2019年度業績見通し

(億円)

	2018年度	2019年度	増減	
売上高	3,367	3,500	+133	+4.0%
営業利益	217	220	+3	+1.3%
(率)	6.5%	6.3%	-	-
経常利益	178	180	+2	+1.2%
特別損益	▲ 177	70	+247	-
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	▲ 6	170	+176	-
EPS (円)	▲ 6.8	191.5	-	-
減価償却費	158	170	+12	+7.4%
設備投資	255	365	+110	+43.1%

為替レート (円/US\$)

111

112

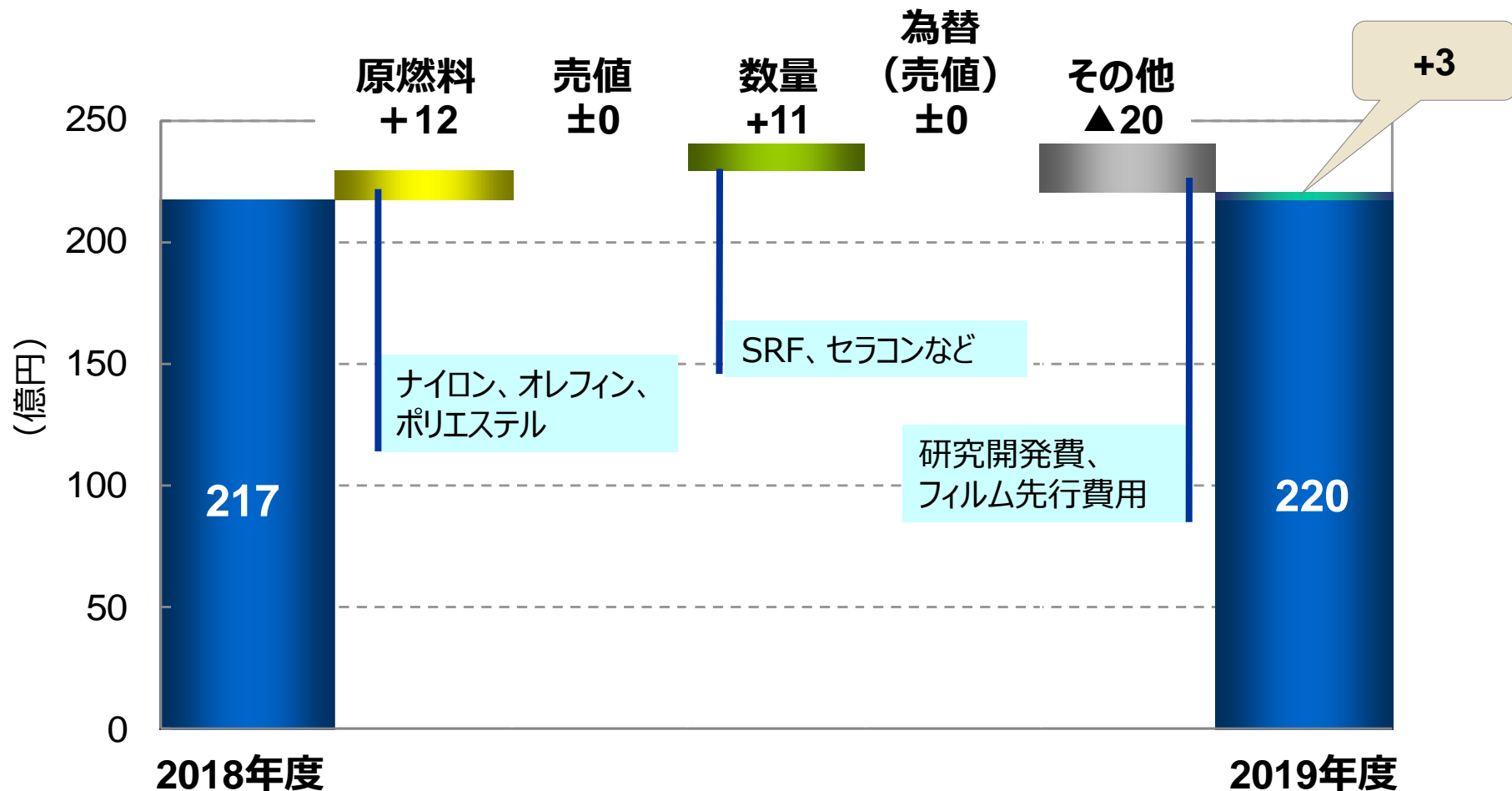
国産ナフサ価格 (千円/kl)

49

47

2019年5月9日に発表しました内容から、変更は行っておりません。

営業利益の増減要因



	2018年度	2019年度
為替レート (円/US\$)	111	112
国産ナフサ (千円/kl)	49	47

2019年5月9日に発表しました内容から、変更は行っておりません。

セグメント別見通し

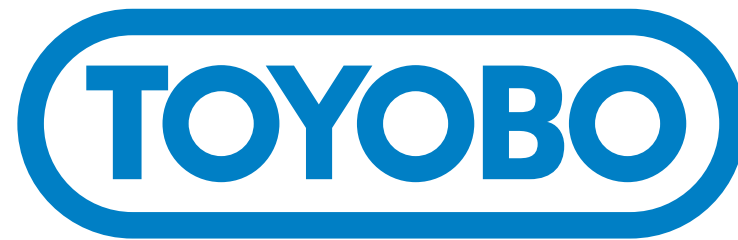
(億円)

	売上高		営業利益		
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	増減
	実績	見通し	実績	見通し	
フィルム・機能樹脂	1,562	1,625	137	148	+11
産業マテリアル	665	710	26	24	▲2
ヘルスケア	347	370	52	54	+2
繊維・商事	646	650	9	8	▲1
不動産・その他	147	145	22	21	▲1
消去・全社	-	-	▲29	▲35	▲6
合計	3,367	3,500	217	220	+3

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社



Ideas & Chemistry

All Rights Reserved